

建物概要		敷地面積		24.395 m ²		評価の段階		運用段階評価	
建物名称	SOSiLA春日部	建築面積	14.505 m ²	評価の実施日	2020年9月16日	作成者	高田 千春	不動産評価員番号	ふ-000483-23
建設地	埼玉県春日部市下柳字取前1593番1外	延床面積	52.897 m ²	構造	RC造、一部S造	確認日		確認者	
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし	階数	地上4F	平均居住人員	人	確認者		不動産評価員番号	
建物用途	物流施設	構造	RC造、一部S造	年間使用時間	時間/年				
竣工年月	2019年3月12日								
直近の大規模改修実施年月									

評価結果		S ランク:★★★★		78	
74.1 /100	合計	★★★★☆	≧	66	
(得点 / 満点)		★★★★	≧	60	
		★★★	≧	50	

ポイントは小数点第1位までの表示とする

1. エネルギー/温暖化ガス

評価	最大加点	必須項目	指標 (*は参考値)	評価値
適合		必須項目 : 省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制		
1.0	1	根拠等 ①省エネ基準達成、②目標設定(省エネ法の努力目標)、③テナント・共用部分けた把握、④テナントとの協力を含めた運用管理体制の構築	一次エネルギー(目標値)	MJ/m ² ・年
20.0	20	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)	MJ/m ² ・年
		根拠等 BEIm=0.48	二次エネルギー(*)	kWh/m ² ・年
4.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	CO2排出量(*)	kg-CO ₂ /m ² ・年
		根拠等 直近の実績が、600円/m ² 以上、840円/m ² 未満	水道光熱費	644.0 円/m ² ・年
2.0	5	1.3 省エネルギー(仕様評価) 省エネ計算対象外の倉庫エリア等	導入された対策項目数	2.0 項目
		根拠等 1)、5)	利用率	%
3.0	5	1.4 自然エネルギー		
		根拠等 設置なし		
30.0	35	合計		

2. 水

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		必須項目 : 目標設定、モニタリング、運用管理体制		
	0	根拠等 ①水使用量の目標設定、②日・月次での把握	水使用量(目標値)	L/m ² ・年
6.0	10	2.1 水使用量(計算値)	水使用量(計画値)	L/m ² ・年
		根拠等 1)、2)		
6.0	10	2.2 水使用量(仕様評価)		
		根拠等 1)、2)		
6.0	10	2.3 水使用量(実績値)		
		根拠等 評価しない		
6.0	10	合計		

3. 資源利用/安全

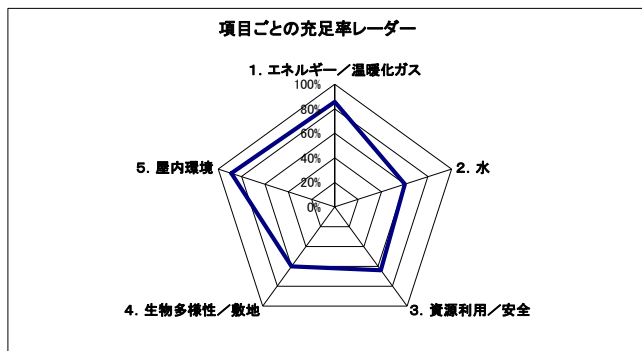
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		必須項目 : 新耐震基準への適合またはIs値、If値		
3.0	5	根拠等 2019年竣工	なし	
3.0	5	3.1 高耐震・免震等 3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
		3.1.1 耐震性 根拠等 建築基準法に準拠		
3.0	5	3.1.2 免震・制震・制振性能 根拠等 該当なし		
3.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理抑制		
		3.2.1 再生材利用率 ①と②の平均で評価する		
3.0	5	① 躯体材料 該当なし		
3.0	5	② 非構造材料 RW吸音板	リサイクル材目数(非構造材)	1 品目
3.0	5	3.2.2 廃棄物処理抑制 評価しない		
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数		
		根拠等 建築基準法に準拠	経過年数+今後の想定耐用年数	年
3.8	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理 1,3,4.2,3,4.3の平均	更新年数の平均値	18 年
3.3	5	3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔 根拠等 変電25年、空調機15年、ファン類15年	自給率向上の取組数	2 項目
3.0	5	3.4.2 設備(電力等)の自給率向上 根拠等 1)、2)	維持管理に関する取組数	13 ポイント
5.0	5	3.4.3 維持管理 根拠等 特定建築物に該当しない(取組項目 1)~6)		
12.8	20	合計		

4. 生物多様性/敷地

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		必須項目 : 特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない		
8.0	10	根拠等 自ら導入していないことを確認	なし	
4.2対象外の時は点数を倍)		4.1 生物多様性の向上 根拠等 ③)、⑤)	②取組表による場合のポイント	2 ポイント
0.0	0	4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生 根拠等 要措置地域に該当しない		
[対策不要は対象外]		4.3 公共交通機関の接近性		
2.0	5	4.3.1 公共交通機関の接近性 根拠等 バス停あり	鉄道駅またはバス停からの距離	8 分圏内
1.0	5	4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮 根拠等 2)	取組数	1 項目
2.0	5	4.4 自然災害リスク対策 根拠等 キュービクルや非常用発電機を地上階より上階に設置	リスクの合計数	3 種類
12.0	20	合計		

5. 室内環境

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		必須項目 : 建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合		
4.3	5	根拠等 建築物衛生管理基準の順守	なし	
5.0	5	5.1 昼光利用 5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3		
		5.1.1 自然採光 根拠等 開口率20%以上	開口率	22.7 %
3.0	5	5.1.2 昼光利用設備 根拠等 該当する設備なし	昼光利用設備	種類
5.0	5	5.2 自然換気性能 根拠等 引き違い窓による自然換気可能、開口1/15以上	自然換気有効開口面積	26.0 m ²
4.0	5	5.3 眺望・視環境 根拠等 天井高さ2.8m、窓高さ1.6m、フロートガラスによる眺望確保	天井高	2.8 m以上
13.3	15	合計		



環境性能の特徴

外壁には、断熱性の高いサンドイッチパネルを採用し、全館LED照明により平均照度300lxを維持しながら省エネ性も確保する計画となっている。
また、非常用発電機により、停電時も照明・トイレ・EVなどの一部を長時間使用可能となっている。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄

SOSiLA春日部